

2024年6月9日（日）
大学教育学会 第46回大会
部会22 初年次教育（2）



山形大学
Yamagata University

初年次インターンシップにおける 事前学習およびモニタリング について



山形大学 学術研究院
○松坂 暢浩
山本 美奈子
藤原 宏司

発表スライドの配布について

- 山形大学では、SDGsの観点から「ペーパーレス化の推進」を行っております

- **発表スライドの入手方法**

1. Google等の検索エンジンでキーワード検索：**OIRE**



2. 下にスクロールをして「重要なお知らせ」を探してください

重要なお知らせ



本日の流れ（タイムスケジュール）

1. 研究背景

2. 授業改善の内容

3. 検証結果と今後の課題



本研究の概要

本研究の目的は、大学1年次を対象とした初年次インターンシップにおける事前学習の改善と、インターンシップ中のモニタリングによる成果および課題について明らかにすることである。

初年次インターンシップ参加学生は、入学間もないため、アルバイト経験等による社会人との接点が少ないことから、インターンシップ先での振る舞い等**ビジネスマナーに強い不安**を感じており、それらの不安解消に向けた指導が課題といえる。

また、受入企業が指摘する自主性や積極性が欠けている学生について、インターンシップ参加時に行動把握し、指導につなげる**モニタリング等の仕組み**を導入する必要がある。

本研究の概要

そこで本研究では、学生が強い不安を感じているビジネスマナーに着目し、事前学習において、グループワークを基本として、ビジネスマナーの理解および質問行動※を促すアクティビティを取り入れる等の授業改善に取り組んだ。

また、インターンシップ参加時の行動把握および指導のために、実習日誌を毎日学生に書いてもらい、教員が内容の確認しフィードバックを返せるプラットフォームとして、WEBで同時に編集できるオンラインスプレッドシートを活用した。

本日は、これらの成果および課題について述べる。

※質問行動：学習者が様々な場面で分からないことを質問する行動
(山本・松坂,2021)

本研究で取り上げる初年次インターンシップについて①

インターンシップ参加学生と受入先の中小企業の社員が「共に学び、共に育ち合う」 共育型のプログラム



大学

2名の担当教員が担当



中小企業団体

事務局が窓口で担当

参加学生の指導、受入企業のサポート等

★学生に対する教育効果を高め、受入企業でインターンシップを担当する社員の人材育成につなげるために、受入企業に対して独自開発したプログラム作成用のフォーマットを提供

本研究で取り上げる初年次インターンシップについて②

【授業の特徴】

1. **全学部1年生**（医学部や留学生を含む）が対象
2. **基盤共通教育の選択必修科目**
3. **県内中小企業団体と連携し受入先を中小企業に限定**
4. **学生のキャリア形成支援活動（4 類型）：タイプ2**
(キャリア教育)

【授業の到達目標】

インターンシップ体験を踏まえ、以下3点が説明できる

1. **自分自身にとって働くとは何か【知識・理解】**
2. **地域の中小企業等の魅力とは何か【知識・理解】**
3. **インターンシップ体験での学びを踏まえて今後の大学生活をどのように過ごしていくか【知識・理解】**

本研究で取り上げる初年次インターンシップについて③

期間

4月 ————— 8月 ————— 9月 —————>

ステップ

**事前学習
(4ヶ月)**

個別面談、履歴書作成、**ビジネスマナーと質問行動の練習**、**ピアメンターによるサポート**、同友会経営者による講演、受入先の企業研究等



**事前訪問
(1日)**

学生は受入先にアポイントを取り、事前訪問して、目標の共有と実習内容の打ち合わせを行う



**インターンシップ
(3日)**

モニタリング

通常業務型のインターンシップ（オリエンテーション、会社・工場見学、現場実習等）



**振り返り
(1日)**

受入先の担当者を招いての成果報告会と振り返り

※2021年からオンライン開催



内容

授業改善：ビジネスマナーと質問行動の練習



- **ペアワークにて基本的なビジネスマナー（挨拶や言葉遣い、相手の話を聞く際の注意点等）を学習し、事前訪問のアポ取り（電話がけの練習）やインターンシップ先での質問行動について複数回練習**
- **練習では、ピアメンター（初年次インターンシップに参加した学生）がサポート**

授業改善：インターンシップ参加時のモニタリング

紙の実習日誌をWEBで同時に編集できるオンラインスプレッドシート※に変更し、教員がインターンシップ期間中モニタリング

●月 ●日 (●曜日)		(●) 日目	
時間	実働時間(分)	部署	実習・職務の内容
9:00~10:00	60	●●部	朝礼、挨拶練習、業務連絡 朝礼で自己紹介をしました。業務連絡では、1日の流れを説明いただきました。
10:00~12:00	120	●●部	会社概要説明 〇〇社長より会社概要および経営指針について説明いただきました。
13:00~16:30	210	●●部	事務所施設見学と業務体験 まず〇〇課長から、業務説明をいただきました。その後、△△の会議準備のためにデータ整理を行いました。
16:30~17:00	30		振り返り 業務報告書の作成を行いました。
本日の自己評価と理由			
4：とてもよく取り組めた 3：よく取り組めた 2：あまり取り組めなかった 1：全然取り組めなかった		自己評価：3番 理由：目標としていた・・・ができたので良かったのですが、・・・は改善が必要だと感じたからです。	
振り返りと成果・課題について			
業務内容の説明では、〇〇を把握するために、メモをとりながら注意深く説明を聞きました。そのなかで、〇〇を学びました。また、△△の業務では、〇〇課長から〇〇についてアドバイスをいただきました。私は当初〇〇で大丈夫だと思っており、〇〇が足りていなかったことに気づきました。明日は改善できるようにしたいです。			
フィードバック			
教員●●からのフィードバック 1日目お疲れ様でした。・・・の体験を通して・・・の学びがあったようで良かったです。ただし、・・・を意識すると・・・に関する学びも得られると思いますので、明日以降頑張ってくださいね。			

※オンラインスプレッドシートは、Googleスプレッドシートを使用

授業改善：インターンシップ参加時のモニタリング

農学部Bさん（女性） I S先：製造小売業

日程	自己評価	理由（自由記述）
1日目	あまり取り組めなかった	最初の方、すごく緊張してしまい、質問があるかどうか聞いていただいたが、準備していた質問を忘れてしまい、答えられなかった。明日は自分から積極的に質問し、中小企業の魅力を肌で感じるだけでなく働いている人の思いを直接聞きたいと思う。
2日目	よく取り組めた	昨日より積極的に質問したり、自分から仕事を見つけられて学びが多かった。
3日目	よく取り組めた	今日はお店の外に連れて行っていただく機会があり、作るための過程を知ることが出来ました。また、キッチンカーでの販売は挨拶をすると買ってもらえることが多く、改めて挨拶の大切さに気付きました。お仕事の合間に質問もでき、3日間を通して良さや大変さを体感することができました。

教員からの働きかけ (フィードバック例)

明日からの活動で意識してほしい点をアドバイスし、授業の到達目標を確認した上で活動するように促す

前日より改善された点をほめた上で、再度、意識してほしい点等をアドバイス

3日間の頑張りを評価し、体験を振り返り、整理した上で成果報告会の準備をするように指導

授業改善の結果と検証：分析対象者の属性

2023年度の本インターシップに参加した学生26名を対象

性別	人数	割合 (%)	学生所属	人数	割合 (%)
男性	15	57.7	理学部	5	11.4
女性	11	42.3	工学部	12	27.3
合計	26	100.0	農学部	2	4.5
			地域教育文化学部	1	2.3
			人文社会科学部	6	13.6
出身県	人数	割合 (%)	合計	26	59.1
A県	6	23.1			
A県以外	20	76.9			
合計	26	100.0			

授業改善の結果と検証：オンラインスプレッドシート (実習日誌)

オンラインスプレッドシートの学生による自己評価（4件法）

学生の自己評価	1日目		2日目		3日目	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
とてもよく取り組めた	5	19.2	17	65.4	20	76.9
よく取り組めた	18	69.2	9	34.6	5	19.2
あまり取り組めなかった	3	11.5	0	0.0	0	0.0
全然取り組めなかった	0	0.0	0	0.0	1	3.8
合計	26	100.0	26	100.0	26	100.0

インターンシップの3日間を通して、1日目に比べ、日経つにつれて「とてもよく取り組めた」の回答割合が増加

自己評価に対する理由の自由記述を事前学習で指導した内容（質問行動、ビジネスマナー）について分類し検証

1日目

「質問行動」の記述：27個

- 「積極的にすることはできた」等の記述がある一方で、「自分から時間を見つけて質問できなかった」等、質問行動についての課題（27個中11個）の記述が見られた。

「ビジネスマナー」の記述：8個

- 挨拶やメモを取ることを意識し行動できていたという内容であった。

3日目

「質問行動」の記述：17個

- 「1日目より積極的に質問できた」「わからない点を自分から進んで質問できました」等、全ての記述（17個）が質問行動を意識して取組めたという記述であった。

「ビジネスマナー」の記述：5個

- 挨拶やメモを取ることを意識し行動できていたという内容であった。

今後の課題

- **モニタリングを取り入れ、毎日フィードバックを行ったことにより、学生自身のリフレクションを促し、翌日の行動改善に何らかの良い影響があったと推察される**
 - **さらなるデータの蓄積が必要**
- **オンラインスプレッドシートを学生と教員のみが使用した。また、学生の主観的な評価に基づいた改善活動であることが課題といえる**
 - **今度は受入企業にも共有し、受入企業からの客観的なフィードバックをタイムリーに取り入れる仕組みを構築したい**

謝辞、引用文献

謝辞

本研究の実施にあたり、質問紙調査に回答いただいたインターンシップ参加学生の皆様に深く感謝申し上げます。また、本研究はJSPS科研費 JP22K02677の助成を受けたものです。

引用文献

文部科学省(2017)『インターンシップの更なる充実に向けて 議論の取りまとめ』
(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/076/gaiyou/__icsFiles/afieldfile/2017/06/16/1386864_001_1.pdf)

松坂暢浩・山本美奈子(2019)「中小企業インターンシップの教育的効果の検討：低学年次を対象としたプログラムに着目して」『キャリアデザイン研究』15,17-29.

山本美奈子・松坂暢浩(2022)「低学年インターンシップにおけるキャリア意識の変化—事前学習の質問行動に焦点をあてて—」『キャリアデザイン研究』18, 63-72.